

# 福島市が目指す 『コンパクト＋ネットワーク』のまちづくり

記者配布資料

既存の人口・都市機能・基盤集積を生かした効率的な都市経営を進めるため、従来の拡大・拡散型の都市づくりを転換し、生活環境を重視した持続可能な集約型の市街地誘導・形成と中心部や地域生活拠点などが連携するコンパクト＋ネットワークのまちづくりを目指す。

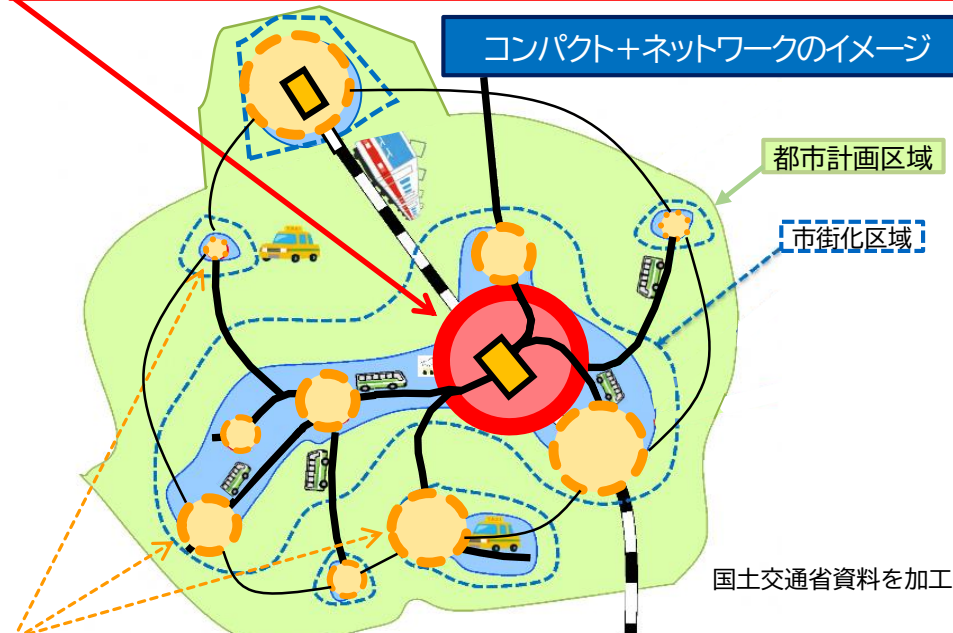
また、市街地内の生活環境の向上や各地域の市民生活を支える地域生活拠点の強化を図るとともに、周辺部における農業生産環境の整備、豊かな自然の保全、既存集落の維持・活性化を図り、市街地と周辺の自然・田園が調和した都市づくりを目指す。

【福島市都市マスタープラン(平成29年3月)】

## 中心拠点＝広域的な拠点

市全体又は広域的に活用される高次都市機能を総合的に集積

行政、経済(業務、商業、コンベンション)、医療・福祉、大学・高校、文化、情報発信、まちなか居住等

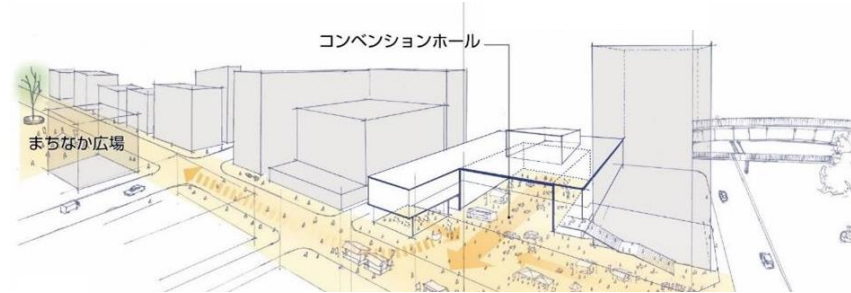


## 地域拠点

地域の特性に応じ、地域の市民生活を支える拠点、観光や工業、農業等の特定分野の拠点を形成

南矢野目地区(商業系拠点)、飯坂地区(観光、生活拠点)、大笹生地区(工業、交流・スポーツ拠点)、笹谷地区(居住系拠点) 等

## ＜東口再開発：コンベンションホール単独案のイメージ＞



敷地面積 : 約14,000㎡

主要な用途 : 住宅、商業、オフィス、駐車場・駐輪場、市施設  
※県内外からの集客

(第2回 福島駅周辺まちづくり検討会資料より)

## ＜南矢野目市有地の提案内容＞



敷地面積 : 約28,500㎡

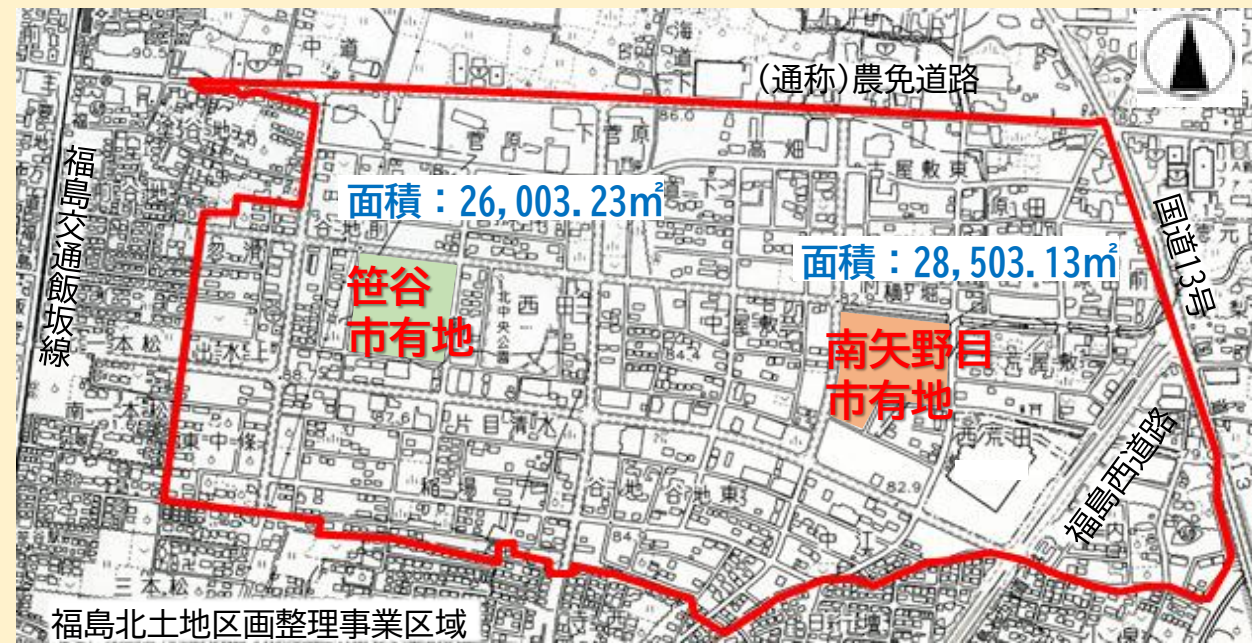
主要な用途 : 市場、書籍・カフェ、イベント広場、子ども図書館など  
※車で10分の商圈(5km)を想定

(イオンタウン㈱資料より)

# < 笹谷及び南矢野目市有地の公募 > 優先交渉権者の決定！

市有地の利活用に向けて公募しておりましたが、審査委員会の開催により審査の結果、両市有地の優先交渉権者が決定しました。今後は、売買契約に向けて優先交渉権者と協議を進めます。

## 位置図



笹谷市有地



南矢野目市有地

## 経過

- 昭和61年 区画整理事業区域内に学校用地確保を決定  
➡笹谷：小学校用地 南矢野目：中学校用地
- 平成3年 区画整理事業の認可
- 平成11年 学校建設の取止め  
➡社会情勢の変化や児童・生徒数の動向による
- 平成19年 区画整理事業完了
- 平成23～ 応急仮設住宅として活用
- 令和2年 ➡東日本大震災以降、両市有地を活用
- 令和4年 地元住民を中心とした「検討委員会」を設立  
➡民間活力により地域の発展・貢献につながる  
土地利活用の方針を議論
- 令和5年 事業提案の公募開始
- 令和6年 **優先交渉権者の決定**  
土地の売買契約締結（予定）

●優先交渉権者の決定 笹 谷 令和6年1月23日  
南矢野目 令和6年4月30日

# 笹谷市有地の提案内容

記者配布資料

## 優先交渉権者

社会医療法人福島厚生会 理事長 千葉 勝実

## 提案内容

福島第一病院の移転新築

<コンセプト>

**急性期と回復期のケアミックスを担い  
地域連携を強化する新病院の実現**

### 核となる施設

病床数 150～196床

診療科 内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、  
人工透析、外科、心臓血管外科、消化器外科、  
麻酔科、整形外科、リウマチ科、歯科、  
リハビリテーション科

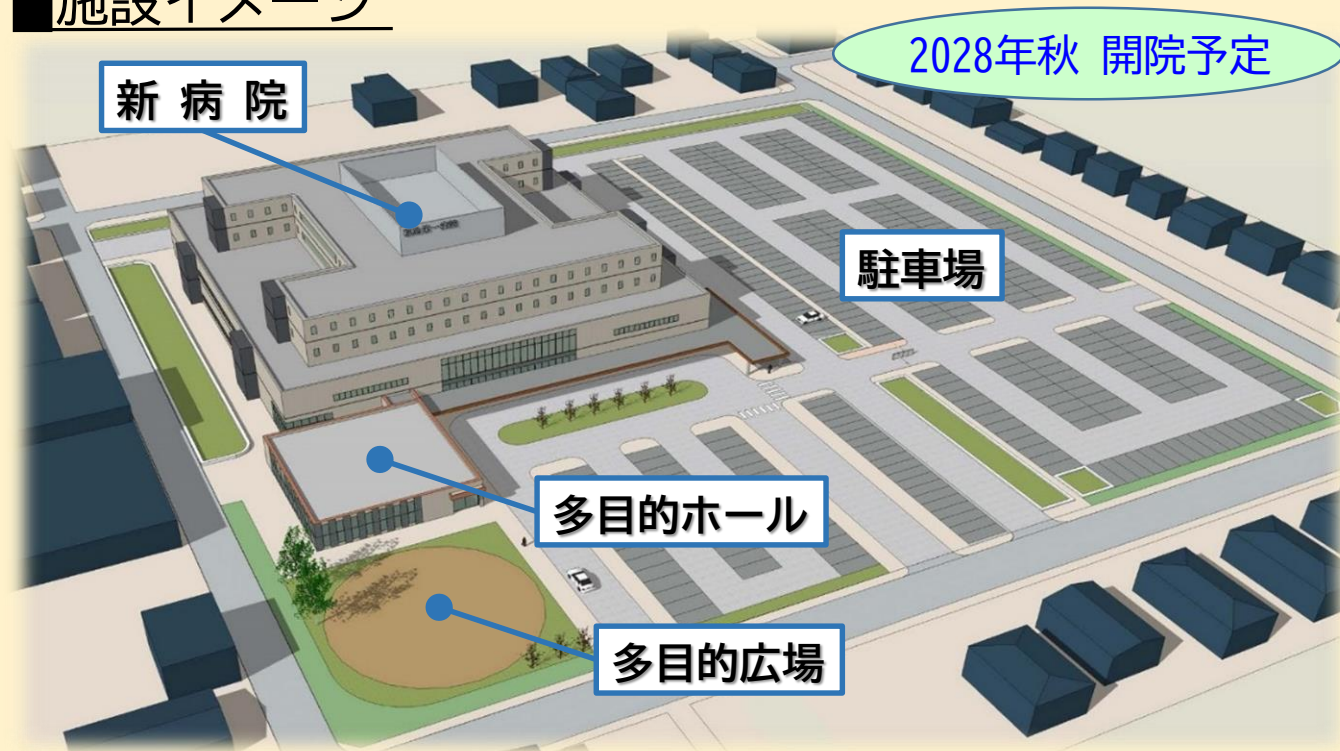
### 複合する施設

多目的ホール、多目的広場

<基本方針>

急性期・救急医療の継続  
地域医療連携の強化と在宅医療の支援  
循環器疾患への対応強化  
災害時の地域支援  
将来需要に適した病院運営

## 施設イメージ



※提案時における計画であり、今後の検討により変更することがあります。

# 南矢野目市有地の提案内容

記者配布資料

## 優先交渉権者

イオンタウン株式会社 代表取締役 加藤 久誠

## 提案内容

<コンセプト>

多世代交流拠点『まち・にわ・プレイス 矢野目』

### 核となる施設

アンケート調査で要望の多い業態で構成する商業施設

### 複合する施設

居心地の良い「多世代交流拠点」を目指す

### 地域連携・地域防災

地域交流「イオン福島店」と連携し、一時避難場所や救援物資の提供に取組む

## 施設イメージ

2027年春 オープン予定



### 核となる施設

やのめ市場



書籍&カフェ・生活雑貨



地域の医療・健康増進  
に寄与する施設



イメージ画像

### 複合する施設

イベント広場



子ども図書館



コミュニケーションスペース



緑の遊歩道



イメージ画像

※提案時における計画であり、今後の検討により変更することがあります。